

# 10の姿 言葉による伝えあい

乳幼児期は言うまでもなく言葉の発達がめまぐるしく起こる時期です。

生まれた赤ちゃんはもちろん言葉を話せません。

喃語という言葉から始まり、1歳で10語程度の語彙を獲得します。

2歳頃には語彙爆発といわれる現象が起こり、一気に300～400語ほど話せるようになります。

ただ、当然まだその程度です。それが卒園間近になると3000～4000語になります。

ですから、年齢を重ねるほど言葉による伝えあいが大切となり、どのような環境で語彙力を育てていくかが大切になります。

教育保育要領には「保育教諭等や友達と心を通わせる中で、絵本や物語などに親しみながら、豊かな言葉や表現を身に付け、経験したことや考えたことなどを言葉で伝えたり、相手の話を注意して聞いたりし、言葉による伝え合いを楽しむようになる」とあります。



子どもは自分を受け止めてくれる相手に思いを伝えようとして話し始め、次に、相手の思いも知りたくなって、相手の話を聞こうとするようになります。こうして言葉を少しずつ身に付けていくのです。特に、絵本や物語の読み聞かせは、子どもたちが話の展開に心躍らせて聞くことに集中し、新たな言葉の表現に出会える活動と言えます。そのほかにもおままごとや構成の遊びにおいてもお友達との言葉のやり取りを重ね語彙数を増やし、コミュニケーション能力の育みへとつながります。

言葉がまだ話せない0歳の頃は子どもの気持ちを大人が代弁してあげることで気持ちが通じ合う心地よさを感じ、言葉に興味を持っていきます。

2歳ぐらいになると言葉を少しずつ話し出しますが表現はまだ不十分です。しかし、不十分ながら伝えたいことを言葉にしようとし、そのことを大人に受け止めてもらうことで話す意欲が増していきます。

4歳ぐらいになりようやく少しずつ子ども同士でコミュニケーションをとり合えるようになります。

そして、小学校への就学の頃になると、語彙数も増え、豊かな表現を身に付けるようになり、経験したことや考えなどを伝えたり、相手の話を注意して聞いたりして言葉による伝え合いを楽しむようになります。

また、伝える相手や状況に応じて言葉の使い方や表現の仕方を変え、相手にわかるように工夫して伝えられるようになります。

とはいえ、言葉の発達としてはまだまだ未熟な時期です。おうちでも焦らず丁寧に言葉のやり取りを楽しんでください。

園ではその月齢に応じた環境配置を行い、言葉による伝え合いを子どもが自分のペースで取り組めるように工夫しています。





認定こども園

やまざきゆめの森こども園

2021

えんだより

10月

日中には心地よい風が吹き、虫の音や色とりどりの草花に秋の装いを感じるこの頃です。子ども達も環境認識の学びの中で秋の植物を五感で感じています。是非おうちのお庭や食卓などでも、お子さんと秋を探してみてください。

また、今月は運動会に遠足など、子ども達の興味を深める活動が続きます。どんなことに気づいてくれるでしょうか。楽しみです。

月	火	水	木	金	土	日
				1 総練習①	2 資源回収	3
4 体育あそび	5	6 総練習②	7 稲刈り 城山小就学時前 健康診断(みどり)	8	9 運動会	10 予備日①
11	12	13	14	15	16 予備日②	17
18	19 げんきはなまる 撮影(ゆめ)	20	21	22 遠足(ゆめ) 通常保育 (あか・もも)	23	24
25 身体測定	26	27	28	29	30	31

※体育あそび・・・体操服を着用して登園して下さい。

## お知らせ・おねがい

- ・運動会…バスは出ません。9時15分までに親子で登園してください。  
前日に健康チェックシートをお渡ししますので忘れずお持ちください。  
たくさんの方がご来園されますので、近隣のご迷惑にならないように駐車していただきますよう、ご協力お願い致します。できるだけ乗り合わせてご来園ください。
- ・げんきはなまる撮影(ゆめ)…19日(火)に大垣ケーブルテレビによる撮影を行いますので、8時50分までに登園してください。出来るだけ休まれないように体調管理をお願い致します。
- ・遠足…22日(金)通常通りバスが出ます。詳細は後日お知らせいたします。